

学年だよ

学年通信 No. 9
文責

中間考査の取り組みスタート

残暑厳しい毎日から、少しずつ秋の気配を感じられるようになりました。教室に入ってくる風が心地よくなりました。昼休みになると運動場に出て遊ぶ人の姿を見かけるようになりました。これからは過ごしやすくなるので、「〇〇の秋」というように、夢中になれるものを見つけて取り組んでみるのもいいかもしれません。まずは、中間考査の取り組みに力を注いで欲しいと思います。

先週から中間考査の取り組みが始まりました。1学期の期末考査の反省からすでに頑張っている人がいます。「勉強しているのに点数がとれない・・・」「小テストでは点数が取れるのに・・・」など悩んでいる人もいます。満足のいく結果を残すには、どのような勉強をすればいいのでしょうか？また、試行錯誤の人が多いので勉強法を紹介したいと思います。

○効果のある「暗記法」

右の図「覚える程度」に合わせた勉強法を見てください。

レベル1の「見て覚える」のは、短時間で簡単に済みますが、忘れやすいようです。勉強を始めたばかりで集中力の高まっていないときにはいいでしょう。

レベル2「音読する」のは、レベル1に比べてしっかり記憶にできるようです。ただ、テストでは、書いて答えるので、漢字のミスやつづりのミスなどケアレスミスにつながるかもしれません。

最後にレベル3「書いて覚える」のは、大変ですが一番しっかり覚えられるようです。きれいに色を使って勉強するのではなく、なぐり書きでいいようです。

頭の中を整理する時にはきれいにまとめ、覚えるときにはなぐり書きと使い分けてみてはどうでしょう。

では、レベル2「音読する」とレベル3「書いて覚える」を組み合わせるのはいかがでしょうか？最強のようなきがしませんか？

○効果的な復習するタイミング

中間考査の学習計画表を見てください。例えば「竹取物語」の試験勉強を何回していますか？1回？2回？

右の「エビングハウスの忘却曲線」を見てください。

いま覚えた情報は24時間後には74%忘れていくということです。人は復習しないとどんどん忘れていきます。

では、先ほどの「竹取物語」の勉強は何回ぐらいすればいいのでしょうか？得意な人なら？不得意の人なら？

自分の得意教科と不得意教科で勉強する回数を変えてみてはどうでしょう。

中間考査までに何度も何度も勉強することによって記憶に残ります。どのくらいの間隔でしっかり頭に残るのか、試してみてください。

今までと違う勉強法にチャレンジしてみると、今までよりもさらに満足のいく結果が得られるかもしれません。